

国文研究あとがき

今回は江口先生の論文、松下氏の論文、木村氏の論文、それに卒論、馬場先生の小論を載せることが出来ました。松下氏のは去年の国文談話会で発表されたものをまとめていただいたものです。中国での日本語教育の成果の一端がうかがえるかと思えます。木村氏は今年の談話会での発表をまとめられたもので、高校勤務のかたわらの研究の成果が出ています。馬場先生のは近年発足した日本語教育課程最初の海外教育実習にあたって学生に述べられたことの内容です。馬場先生は非常に新しい分野である日本語教育の分野で、めざましくも精力的に仕事をこなしておられます。

国文科の近況ですが、江口先生は引続き図書館長を勤められています。竹原先生は新たに学生部長に就任され忙しい日々を送っております。また、長年の研究成果をまとめられた著書を出版されました。馬場先生は先に述べたように学生達の韓国での最初の日本語教育教育実習実現に当たって尽力され、学生達を引率して韓国に行きその大任を果たされました。木村先生がこの四月から立命館大学に転出されました。一四年もの御勤務の後ですから、別れを惜しむ人々も大勢のようです。今年の後任は空白でしたが、来年四月からは新しい先生をお迎えすることが出来そうです。助手を担当していた長野君は南関中学に転出、後任を知北君が勤めています。

今年の談話会の例会総会は七月七日に行われました。卒業生の方もっと気軽にご参加ください。文学散歩は九月の五日、六日に一泊で四国松山に行き、大いに親交を深めました。
(稲川記)

平成二年十二月二十五日 印刷
平成二年十二月二十五日 発行

「国文研究」第三十五号

熊本市健軍町水洗二四三二一
編集 熊本女子大学国文談話会
発行者 熊本女子大学国文談話会
印刷 熊本県印刷センター協業組合

TEL 三八〇一八八六六